

シギトーク実施報告

1.開催概要

地域のおまつりやイベントにブースを出展し、市民の皆様と自由な形で対話し様々なご意見を伺います。

開催日	会場	対応件数
7月26日	須山地区夏祭り	10件
11月2日	東地区コミュニティ祭	15件
11月2日	西地区コミュニティまつり	24件
11月9日	深良地区コミュニティまつり	17件
11月22日	富士山すその花火まつり	11件
11月23日	富岡地区コミュニティ祭り	4件

2. シギトーク聴取内容（まとめ）

・分野別 意見整理マトリクス

① 生活基盤・インフラ・交通（「今、困っている」こと）

【概要】 道路の危険箇所、街灯の少なさ、高齢者の移動手段に関する声が多い。また即時の対応が求められる「修繕・安全対策」案件が多いの。

項目	具体意見	詳細・背景	出展日
道路・安全	危険箇所の修繕・街灯	側溝にフタがない場所があり転落事故があった、夜道が暗い、教習所付近の歩道の草刈り要望、グレーチングの段差がづらい。	11月2日 11月22日
交通マナー	スクールゾーン・通学路	小学校送迎の渋滞がひどい、大型車のマナーが悪い、信号無視が増えた（茶畑交番付近）。	11月2日
移動手段	公共交通・タクシー不足	免許返納後の生活が不安。タクシーが予約できない。「AIデマンドタクシー」や自動運転（ウーブン・シティ連携）への期待。	11月2日 11月23日
ゴミ処理	指定袋の規格・価格	ゴミ袋の容量を大きくしてほしい（現在は結びにくい）、有料化への反対意見。	11月2日 11月16日

② 教育・子育て（現場の切実な声）

【概要】 学校統合や高校再編といったマクロな話に加え、「先生の対応」「トイレの設備」「PTAの集金方法」など、保護者目線の細やかな要望が出ている。

項目	具体意見	詳細・背景	出展日
学校環境	設備・対応の改善	深良小グラウンドのトイレが酷い（大便器がない？）。先生によって対応に差がある。学校への電話がつかまらない。	11月2日 11月9日
PTA・負担	集金のキャッシュレス化	共働きで活動参加は難しいが寄付はしたい。PayPayなどで寄付しやすくしてほしい。	11月2日
支援教育	個別対応・予算	特別支援学級の担任増員要望。予算の硬直化（プリンタインク代が出ない等）への不満。	11月2日 11月9日
再編問題	裾野高校・廃校利用	裾野高校の統合・廃校を止めてほしい（周知不足）。廃校となる小学校（向田小など）の跡地利用への懸念。	11月2日 11月16日 11月22日

③ 都市整備・活性化（「こうしてほしい」という期待）

【概要】 「道の駅」や、文化センターの活用、深良新駅など、市の将来像に対する具体的なアイデアや期待が語られた。

項目	具体意見	詳細・背景	出展日
新拠点	「道の駅」設置要望	裾野には道の駅がない。買い物や食事ができる拠点が欲しい。小山や函南のように。	11月22日
文化施設	文化センター・市民会館	大ホールを改修して有名アーティスト（モモクロ、森高など）を呼んでほしい。ピアノの行方への懸念。	11月16日 11月22日
大型事業	深良新駅・ウーブン	深良新駅は「トップダウンではなく地域住民の願い」として火を消さないでほしい。ウーブン・シティへの期待。	11月9日 11月23日
イベント	花火大会・マラソン	花火大会（50回記念）の予算増額要望。子どもが楽しめるマラソンコース設定など。	11月2日 11月22日

④ 政治・行政との関わり

【概要】 議員や行政との距離感についての意見。

項目	具体意見	詳細・背景	出展日
若者の参画	高校生の政治関心	政治に興味がある高校生がいる。「SNS アドバイザー制度」などで関わらせてはどうか。	11月22日
広報・PR	市旗掲揚・認知度	行事の際に市旗を掲揚してPRすべき。「ヘルプマーク」の認知度が低い。	11月16日
転入者支援	生活ルールの周知	転入時にゴミ出しや自治会のルールが分からず困る。相談窓口やカレンダー配布などのケアが必要。	11月16日

・「シギトーク（対話）」の全体要約

- (1) 「生活の足」と「道路の穴」への切実な訴え 抽象的な政策論議よりも、「目の前の道路が暗くて危ない」「側溝にフタがない」「タクシーが来ない」といった、今日明日の生活の安全・安心に関わるインフラ課題が圧倒的に多く寄せられました。これらは「担当課につなぐ」ことで即効性のある解決が見込めるものが多く、議会としての「頼られがい」が試されています。
- (2) 裾野高校と地域アイデンティティへのこだわり 前回の意見交換会アンケートでも散見されましたが、「裾野高校の存続」や「廃校後の跡地利用」に対する関心が非常に高いです。「卒業生すら統合を知らない」という指摘は、県や市からの情報伝達が市民に十分届いていない現状を浮き彫りにしています。
- (3) 「賑わい」への渴望（道の駅・ホール・花火） 閉塞感を打破するためか、「道の駅が欲しい」「文化センターで有名人を呼んで」「花火をもっと盛大に」といった、分かりやすい賑わいや交流拠点を求める声が強く出ています。
- (4) 教育現場の「細部」への不満 「トイレが汚い」「電話が繋がらない」「インク代がない」といった、教育現場のハード・ソフト両面の予算不足・機能不全に対する保護者の不満が具体的です。これらは大きな教育改革以前の、環境整備の問題として捉えられています。